

平成21年度排出・移動分P R T Rデータの概要について（和歌山県）
—化学物質の排出量・移動量の届出集計結果—

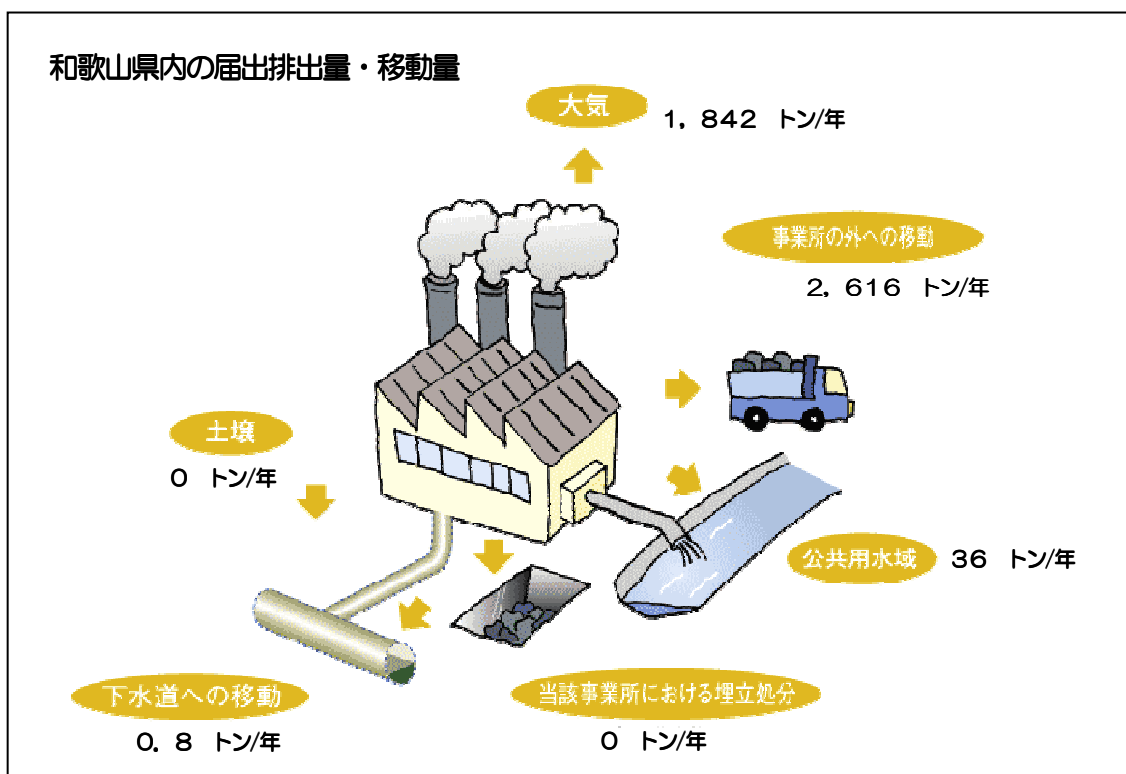
平成11年7月に公布された「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」に基づき、化学物質排出移動量届出制度（「P R T R」（Pollutant:環境汚染物質 Release:排出 and Transfer:移動 Register:登録））が導入されました。

この法律に基づき、平成13年度分から一定の条件を満たした事業者（従業員数が21人以上の政令で定められた23業種に該当する事業を営み、対象物質の年間取扱量が1トン以上（平成13、14年度分届出については5トン以上））の事業所は、環境中に広く継続的に存在し、人の健康や生態系に悪影響を及ぼす恐れのある354種類の化学物質について、1年間の環境への排出量^{※1}や移動量^{※2}を毎年度届け出しています。

国（経済産業省・環境省）は、届出値の集計結果及び推計を行った届出対象外の排出量の集計結果を公表することとされており、法施行後第9回目となる平成21年度分の集計結果について、平成23年2月24日に公表していますが、和歌山県においても、県内の排出量・移動量等の概要について取りまとめましたので、公表します。

※1 排出：大気や公共用水域、事業所内の土壌への排出量及び事業所内への埋立処分量

※2 移動：廃棄物としての事業所外への移動量及び下水道への放出量



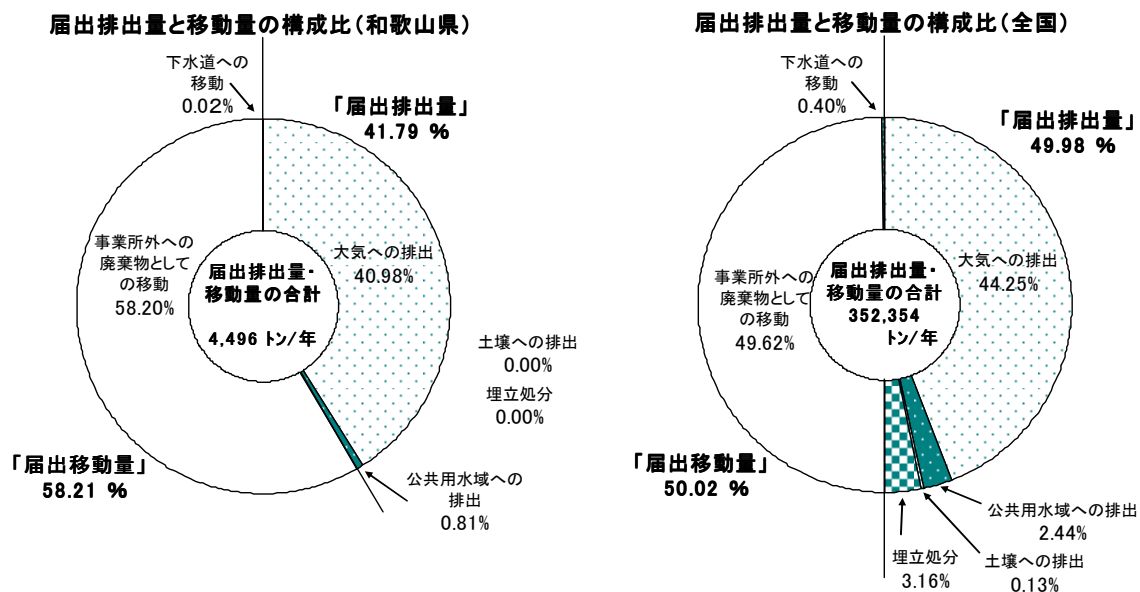
- ・ 全国の集計結果等は、環境省のホームページ (<http://www.env.go.jp/chemi/prtr/risk0.html>) に掲載しています。

1 届出排出量・移動量

(1) 和歌山県内全事業所及び全物質の届出排出量・移動量

事業者より届出のあった総排出量は、1,879トン(全国の1.05%)、総移動量は、2,617トン(全国の1.48%)、排出量・移動量の合計は、4,496トン(全国の1.28%)となっています。

全国のデータと比較してみると、和歌山県は、移動量(特に廃棄物としての移動)の割合が高くなっています。

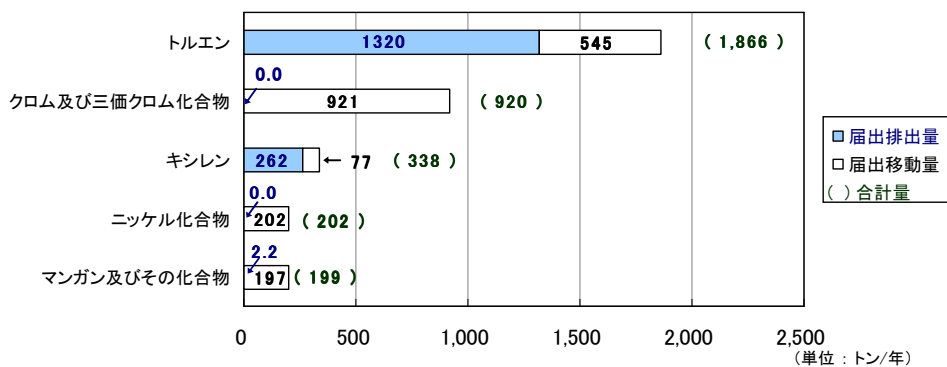


(2) 事業所の届出排出量・移動量の多い物質

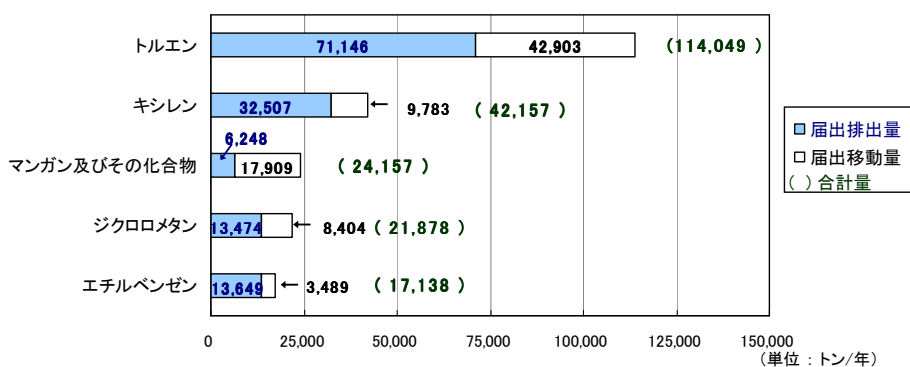
上位5物質の合計は、3,526トンで、全体の78.42%を占めています。

また、ガソリン・灯油、合成原料や溶剤として幅広く用いられるトルエン(1位)、キシレン(3位)、特殊鋼や電池などに用いられるマンガン及びその化合物(5位)が上位を占めているのは全国的な傾向と同様ですが、ステンレス鋼、顔料などに用いられるクロム及び三価クロム化合物(2位)、ステンレスやニッケル鋼の原料、耐熱鋼、磁石鋼、耐熱合金製造、電池の電極触媒などに使用されるニッケル化合物(4位)については、順位が全国と比較して高くなっています。

届出排出量・移動量上位5物質とその量(和歌山県)



届出排出量・移動量上位5物質とその量(全国)



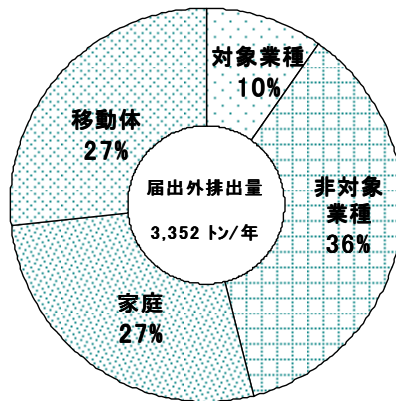
2 届出外排出量の推計値

(1) 和歌山県の届出外排出量の推計値

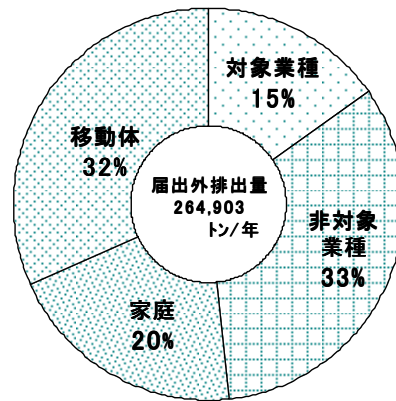
国が推計を行った平成21年度分の届出外排出量の推計値の合計は、3,352トン(全国の1.27%)となっています。

- ※対象業種 : 対象業種からの届出外排出量(届出要件に満たないため届出対象外となったもの)
- 非対象業種 : 非対象業種からの排出量(農業、林業、漁業、建設業等)
- 移動体 : 移動体(自動車、二輪車(二輪自動車及び原動機付自転車)、特殊自動車、鉄道車両、船舶、航空機)からの排出量
- 家庭 : 家庭からの排出量(主として、洗剤、防虫剤・消臭剤、化粧品、接着剤・塗料等に含まれる対象物質の排出量)

届出外排出量の構成比(和歌山県)



届出外排出量の構成比(全国)



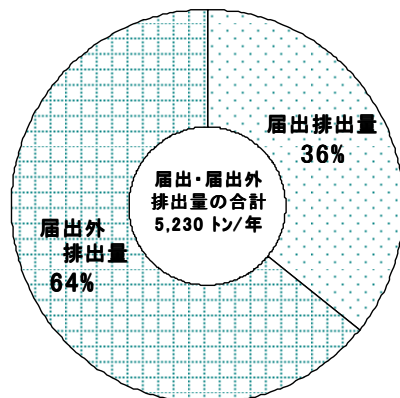
3 届出排出量と届出外排出量の推計値の合計

(1) 届出排出量と届出外排出量の合計

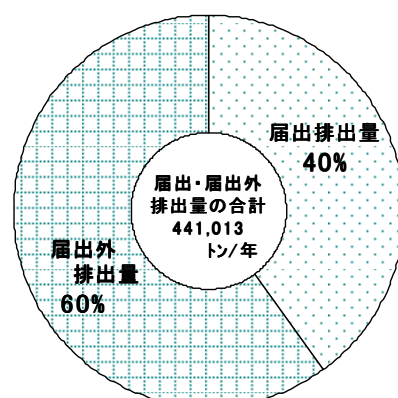
平成21年度分の届出排出量と届出外排出量(推計値)の合計は、和歌山県5,230トン(全国の1.19%)となっています。

また、構成比を全国と比べると、和歌山県は届出排出量の割合が低くなっています。

届出と届出外排出量の構成比(和歌山県)



届出と届出外排出量の構成比(全国)

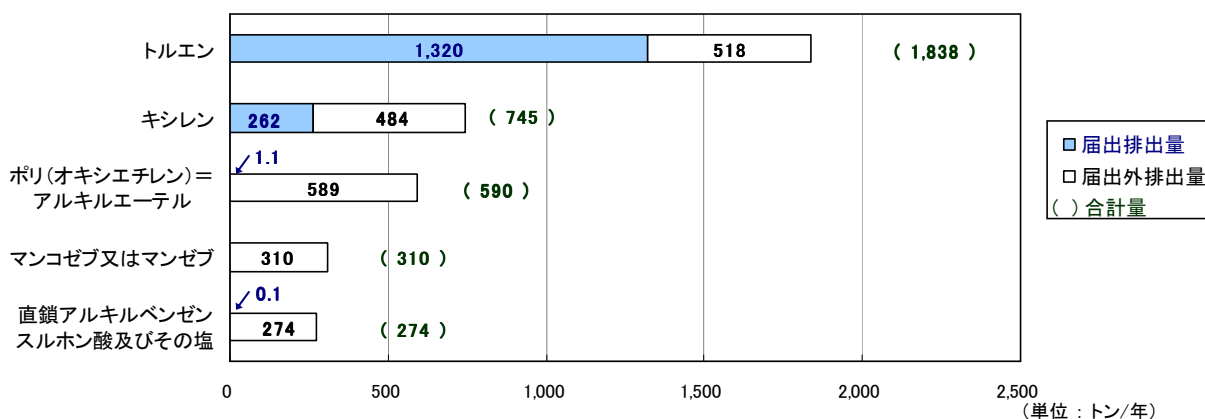


(2) 届出排出量・届出外排出量上位5物質とその量

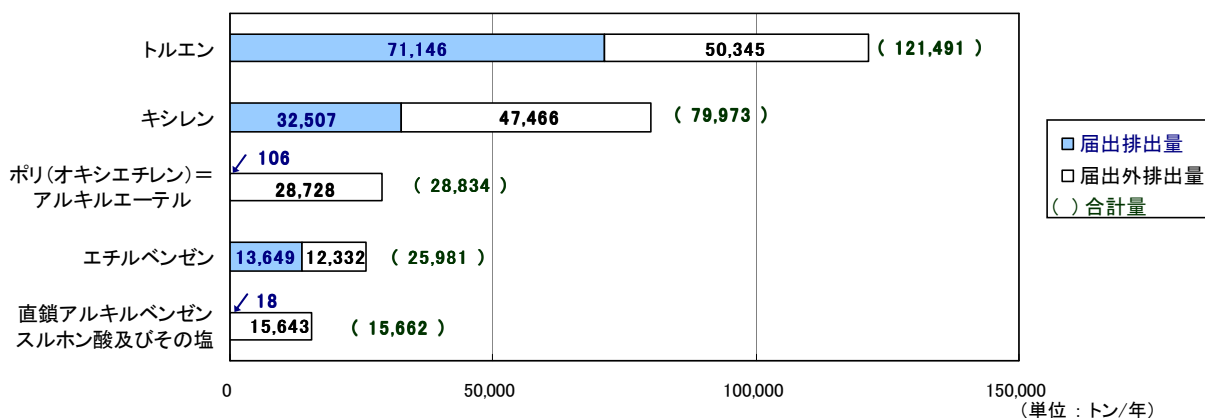
上位5物質の合計は3,757トンで、全体の71.84%を占めています。

また、ガソリン・灯油、合成原料や溶剤などに用いられるトルエン(1位)、キシレン(2位)、界面活性剤であるポリ(オキシエチレン)＝アルキルエーテル(3位)、直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(5位)が上位を占めているのは全国的な傾向と同様です。

届出・届出外排出量上位5物質とその量(和歌山県)



届出・届出外排出量上位5物質とその量(全国)



(参考1)

和歌山県における届出等の推移

(単位：トン/年)

	平成17年度分	平成18年度分	平成19年度分	平成20年度分	平成21年度
届出事業所数	363	362	374	334	330
届出排出量(a)	2,587	2,996	1,963	1,674	1,879
届出移動量(b)	3,634	4,466	4,482	4,369	2,617
届出排出量・移動量合計(a+b)	6,221	7,462	6,446	6,043	4,496
届出外排出量の推計値(c)	4,135	3,797	3,594	3,666	3,352
排出量合計(a+c)	6,722	6,793	5,557	5,340	5,230

全国における届出等の推移

(単位：トン/年)

	平成17年度分	平成18年度分	平成19年度分	平成20年度分	平成21年度分
届出事業所数	40,954	41,141	40,935	39,583	38,141
届出排出量(a)	260,413	246,537	235,983	200,230	176,110
届出移動量(b)	230,014	225,852	222,110	201,863	176,244
届出排出量・移動量合計(a+b)	490,427	472,389	458,092	402,093	352,354
届出外排出量の推計値(c)	348,119	315,079	292,339	290,872	264,903
排出量合計(a+c)	608,532	561,616	528,322	491,102	420,810